

冒険に出かけよう

教育研修部

榎村しおり

SHIORI KASHIMURA

コロナ禍の行動制限により毎年行っていた音楽フェスに行けなくなったり、旅行にも自由に行けず、なかなか思うように活動できなくなり家に籠り悶々としていたところにウォーキングゲームを始めた。

このゲームは、スマートフォンのアプリゲームでGPSによってゲームの世界と現実の地図がリンクしており、そこを登場人物と一緒に冒険（歩き）しながら、敵を倒したり、必要なアイテムを取りに行ったりしながらゲームを進めていくものだ。

これにより、外へ出て行くきっかけができた。はじめは、自宅の周りから始め少しずつ距離を伸ばし

ていき、以前であれば絶対に公共交通機関を利用して移動していたところへもせかせかと歩いて行くようになった。

そうすると近所の軒先や緑道などに咲いている草花が季節ごとに移り変わっていることに敏感になってきた。あとはなんといっても冒険の後のお酒が格別においしい。

よって健康になっているかは疑問だが、コロナ禍になって唯一良かったことだ。

今年こそは、旅先で冒険がしたい。

編集後記

本号の巻頭では、長野県の建設業に携わる方々にお集まりいただき、電子マニフェストの利用状況、課題等をテーマとした座談会の内容を掲載しています。関連記事として「行政のうごき」では長野県の産業廃棄物行政の取組みについてご寄稿いただきました。

令和4年度のJWセンター事業報告について、電子マニフェスト事業、教育研修事業の状況を掲載しています。また、「調査報告」の処分業者における電子マニフェストの利用状況アンケート結果では、JWNET ホームページのFAQの認知度が高いことが分かり、昨年導入したチャットボットをさらに充実させ利便性の向上を図ってまいります。

「コラム」では、資源循環のための徹底したデジタル化によって廃棄物処理業のDXに活路があると、ご執筆者の未来へ向けた力強いメッセージが込められています。白井グループ（株）代表取締役 白井様のご逝去にあたり、謹んで哀悼の意を表します。

「連載講義」では、食品廃棄物等の現状シナリオと発生抑制シナリオとの比較により、発生抑制によるGHG削減効果について数値を基にご解説いただいています。

「産廃鼎談」の第6回は、清入茂様をお迎えしています。清入様がごみ処理の歴史等徹底して調べまとめられた数々の著書は、後世に引き継がれる貴重な資料となるのではないのでしょうか。

電子マニフェストの「ユーザー事例紹介」では、「瀬祭」で有名な旭酒造（株）様よりご寄稿いただきました。2016年から導入いただき、酒造りと環境への取組みについてご紹介いただいています。

最後に、ご多忙の中、座談会にご参加いただいた皆様、ご執筆いただいた皆様、記事作成にあたり編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでいただいた方々に心から感謝申し上げます。（広報室）

■本誌に関する連絡先：総務部広報室（e-mail：jigyo@jwnet.or.jp）

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報（季刊）VOL.23 NO.2 発行日：2023年7月18日発行 発行人：関 荘一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒110-0005 東京都台東区上野三丁目24番6号 上野フロンティアタワー 13階

TEL：03-5807-5911 FAX：03-5807-5912 <https://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷：大日本法令印刷株式会社